

2019年3月25日

日本初 当社の生分解性プラスチック「BioPBS™」を用いたストローの採用
—京急グループ施設で—

三菱ケミカル株式会社

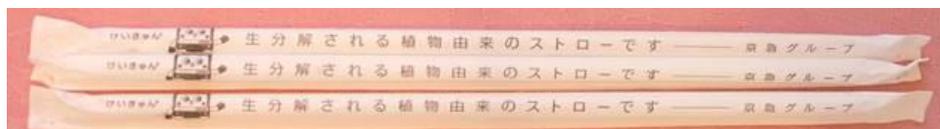
三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）の生分解性プラスチック「BioPBS™」を用いたストローが、京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区、社長：原田 一之、以下「京急電鉄」）及びそのグループ会社（以下、京急電鉄と総称し「京急グループ」）が運営する施設において、本年4月1日より使用されますのでお知らせいたします。BioPBS™を用いたストローが実店舗で使用されるのは、日本で初めてです。

BioPBS™は、当社が開発、基本特許を有し、当社とタイ PTT Global Chemical 社が折半出資する PTT MCC Biochem Company Limited（本社：タイ王国バンコク市、社長：杉本 龍一郎）が製造する植物由来の生分解性プラスチックで、自然界の微生物によって水と二酸化炭素に分解されるため、自然環境への負担が少ないという特徴を有しています。

京急電鉄は、神奈川県と SDGs 推進に向けた連携協定を締結しており、神奈川県が推進している「かながわプラごみゼロ宣言」に県内事業所を持つ京急グループ全社で賛同し、エコバック配布によるプラスチックごみ削減などの活動に積極的に取り組んでおります。今回、京急グループ各社が運営する飲食店や百貨店、ストア業、ホテル等の13社68施設において年間約16万本使用するストローを、BioPBS™を用いたストローに切り替えることで、更なるプラスチックごみの削減を図ります。

当社は、三菱ケミカルホールディングスグループが掲げる「KAITEKI※」の実現に向け、今後も BioPBS™をはじめとする生分解性プラスチックや植物由来プラスチックの研究開発・用途展開を加速させ、循環型社会の構築や SDGs の達成に貢献して参ります。

※ 三菱ケミカルホールディングスグループのオリジナルコンセプトで、「人、社会、そして地球の心地よさがずっと続いていくこと」を表します。



今回採用されたストロー



ストローが使用される施設の一例

（左：観音崎京急ホテル、右：BOAT RACE 平和島劇場内レストラン）

以上

お問合せ先
株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
TEL 03-6748-7140